

いわた

# 文化財だより 号外

磐田市教育委員会文化財課 平成 25 年 2 月 28 日発行

◎目次◎

- 祝！明ヶ島原出土土製品が  
市内初の重要文化財へ！…………… P1・2

祝！  
みょうがしまばら  
明ヶ島原出土土製品が  
市内初の重要文化財へ！

2月27日に国の文化審議会が開かれ、「明ヶ島古墳群出土土製品」1,064点他について、「重要文化財」とするよう文部科学大臣に答申がありました。

市内の国指定文化財は特別史跡・遠江国分寺跡をはじめとして「史跡」「無形民俗文化財」「天然記念物」の3分野にありますが、動産である「有形文化財」の分野でははじめてとなります。

この「明ヶ島古墳群出土土製品」は、平成6年から13年にかけて行われた、磐田市明ヶ島原の土地  
区画整理事業にともなう発掘調査で発見されました。

## ◎土製品とは？

今回指定となる遺物は、粘土をこねて作った人形などで、古墳時代から奈良時代にかけて見られます。祈りに使われたもので、神社などでお祓い  
に使う紙でできた人形や、ワラ人形などのルーツ  
と言われてています。



<人の形をした土製品>



<たくさんの土製品>



<よろいや盾など>

これら土製品は、名刺の大きさにすっぽり  
と入るくらい  
のものがほとんどです。

名 刺



<犬といのしし>

## ◎ 何がだいじなの？

明ヶ島原からは、破片を含め 4,000 点以上の土製品が見つかっています。人形だけでなく、よろいや盾、犬やいのしし、鏡や斧、杖、琴、糸巻きなど、さまざまな生活用具を模したものが見つかったことから、1,500 年前の古代人の生活がいきいきと復元できます。

明ヶ島原の土製品は、国内でも最古のもので、また質量ともに日本一であることが高く評価されました。



< 琴 >

## ◎ そんなにすごいこと？

磐田市には県指定の有形文化財が 9 件ありますが、今回そのうちの 1 件である「明ヶ島古墳群出土土製品」が国指定に格上げになったことで、掛川城の御殿や先ごろ話題となった徳川家康の南蛮時計（久能山東照宮蔵）などと肩を並べる文化財が磐田市に誕生したことになります。

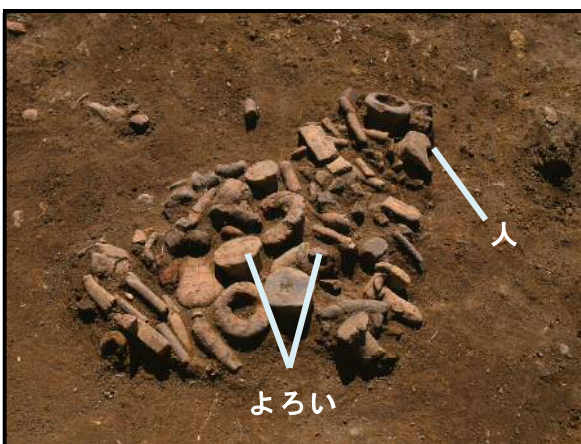
全国に誇れる価値のある文化財が磐田市にあるということは、わがまちの自慢になるのではないのでしょうか。



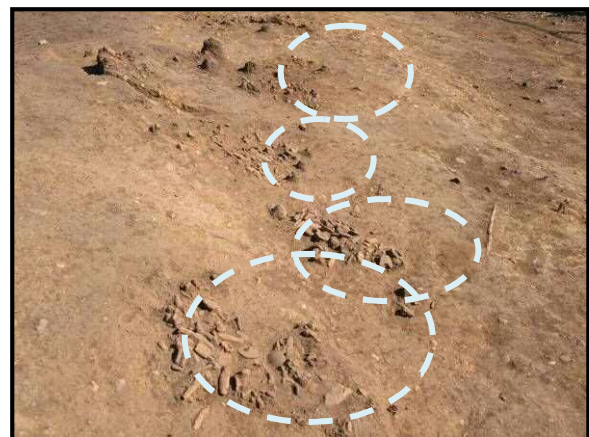
< 機織の道具 >

## ◎ どうしたら見られるの？

現在、指定審議のために文化庁に一部の遺物を貸し出しており、ゴールデンウィーク前後に東京国立博物館で新指定文化財展が開催される予定です。また、遺物が返却され次第、企画展などで皆さんにお披露目をしたいと計画しています。



< 発見されたようす >



< 発見されたようす >  
(点線内が土製品のまとまり)

編集後記：人や動物、楽器などこれらの土製品をつくった古代の人達の手のぬくもりまでもが伝わってくるような作品の数々。これらから人々の信仰や生活の様子などが想像できます。まるで古代にタイムスリップしたかのようです。

発行：磐田市教育委員会文化財課  
(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538(32)9699  
FAX：0538(32)9764  
Mail：[bunkazai@city.iwata.lg.jp](mailto:bunkazai@city.iwata.lg.jp)